

令和8年2月6日

## 令和7年度 各務原市子ども館運営委員会 議事録

1. 開催日時 令和8年2月6日（金） 13:30～15:00
2. 開催場所 陵南福祉センター
3. 出席者 杉山祐子委員長、川瀬智美副委員長、水野香織委員、清水菜月委員、岩城仁美委員、石川紀子委員、古田有美委員、市川春菜委員、清水沙耶香委員、大橋知里委員、神田香里委員、木村哲也氏（加藤大志委員代理）

欠席者 山田宏子委員、加藤大志委員

（所属機関略）

1. 議事 (1) 子ども館運営委員会の運営について  
(2) 令和7年度子ども館事業報告について  
(3) あさひ子ども館での一時預かり事業の実施について
2. 議事の経過  
(1) 各務原市子ども館運営委員会の運営について

### 質疑応答

#### 《委員長》

本会議を公開で行うということだが、今回の会議について、どのような方法で開催することを委員以外に通知したか。

#### 《事務局》

ウェブサイトで通知した。

#### 《委員長》

本日の会議について、何か問合せはあったか。

#### 《事務局》

全くなかった。

#### 《(委員長)》

予約をしなくても、当日会場に来たら傍聴することは可能か。

《事務局》

定員に空きがあれば可能。

(2) 令和7年度子ども事業報告について

- ・パワーポイントにて説明
- ・添付資料参照

質疑応答

《委員長》

来館者数推移グラフ 7. 8月が増えており、9月は少し減っている。  
7.8月の増加の感触はどんなものか。

《事務局》

今年度の夏はかなり暑く、「外にはとても出られず、家にいても暑くて…」と言われる方が多くみえた。「過ごしやすい子ども館で」と来館される方が増えたのだと思う。11月頃から涼しくなり、ようやく戸外に出られる季節になると、来館者数が減っていた。短い秋を戸外で過ごされたようである。

《委員長》

来館者数年度別推移グラフより コロナの時期を経て徐々には上がってはきているが、コロナ前の来館者数には及ばない理由としてはどんなことが考えられるか。

《事務局》

コロナが明けてからの増加の上り幅が緩くなっているのは、子どもの数が減ってきたことと、早くから仕事に復帰される母親が増え、共働きの方が増えてきていることが原因の一つと考えられる。そのため子ども館に来館するお子さんの年齢も少しずつ低くなってきている。コロナ前までの来館者数までなかなか戻らないかもしれないが、たくさんの方に来ていただけるように工夫したいと思っている。

《委員長》

子育て相談では多岐にわたる相談を受けていることが分かる。その中でも食事についての相談が特に1.2歳児に多い。どのような内容の相談が多いのか。

《事務局》

離乳食が終わり、味の好みがはっきりしてきたことで、“せっかく作ったのに食べてくれない”“思うように食べてくれない”“偏ったものしか食べてくれない”という相談や、“手づかみで食べさせて良いのか”という相談がある。

1歳半からのイヤイヤ期に伴う食事面での困りごとに関する相談も多い。

《委員長》

相談が多いという事は、幼児食講座は皆さんの関心が高い講座となるのか。

《事務局》

幼児食だけでなく離乳食の話もしていただけることで、多くの受講者が申し込みされた。それだけ関心の高さが伺える。専門の方の話を聴けることも好評な要因の

一つと考えられる。

《委員》

保護者の悩みや関心が講座の人気につながっていることを感じる。

《委員》

わが子が歌や体操を好きになったのは、子ども館で行う“みんなであそぼ”がきっかけである。楽しさを教えてもらえたことをありがたく思っている。

《委員》

さくら子ども館は駐車場が無いことで行きづらく感じている。他の利用者さんからもそのような声もよく聞く。

《事務局》

以前からさくら子ども館の駐車場に関しては、子ども館独自の駐車場ではないことで、ご不便をおかけし申し訳なく感じている。市の施設が集まっている地域になるため、共有して駐車場を使っていただくほかなく、大変心苦しいがご理解をいただきたい。

《委員》

どのスタッフも子どもたちに分け隔てなく目配り気配りしていただき、わが子は子ども館が大好きである。ありがたい環境だと思っている。

いろいろな講座があり参加することを楽しみにしているが、特に料理講座では、同じくらいの子どもの持つママと一緒に、保育所で人気のメニューを一緒に作る事がとてもよかった。実際に家で何度か作っており、祖母、夫にも好評である。また来年も参加したい。

《委員》

土日休みの夫が週末バージョンをととても楽しみにしている。もう少し回数を増やしていただけると嬉しい。

《事務局》

土日でも色々な体操を一緒に楽しめる環境を作ることができる。気軽に声をかけていただきたい。

《委員》

パパも子育てする時代だからこそ、お子さんを連れて安心して利用してもらえる子ども館として、様々な要望に応えながら対応して行ってほしい。

《委員》

子どもの検診で子ども館を教えていただいた。子ども館スタッフに同じくらいの子どもの月齢のお子さんとママを繋いでもらい、今では親子サークルに入り友達も増えた。相談件数にもあるように、子どものイヤイヤ期に困り、スタッフに泣きながら相談したこともあった。どちらかという自分のために子ども館へ週4、5回通っている。スタッフにはいつも助けられている。

《委員》

子どもが4か月の時に初めて子ども館へ行ったが、4か月の子どもが行って良い

場所だと思っていなかった。毎週子どもをどこに連れていくか、毎日子どもと何をして過ごそうかと、SNS で近場のイベントを確認する若いママたちも少なくない。そんなママ達に子ども館を知ってもらうため、SNS で“子ども館って、こういう雰囲気なんだよ”と発信することで、“どういう所か分からないから行けない…”というママが来やすくなり、孤独も簡単に解消できるのではないかと思う。

#### 《事務局》

市の公式 LINE が発信の手段となっている。市全体のイベントに限らず様々なことを公式 LINE で発信するため、子ども館のことを頻繁にお知らせすることはできていない事が心苦しく思っている。

市が令和 8 年 2 月から『母子手帳アプリ』を導入した。検診の記録を管理したり、子育ての情報を発信したりできるようになった。最初の一步がうまくいくように行政もアピールしていきたい。

#### 《委員》

県外出身で結婚を機に各務原に住んでいるため、頼れる大人が夫しかいない中、自分が外に出たくて子ども館へ行った。娘も子ども館で教わる体操や歌を自宅でも行ったり、自分自身、知り合ったお母さんと子ども館の外でも会ったり連絡を取ったりして友達もできた。母子共に楽しい生活を送れているのも子ども館のおかげである。

#### 《委員》

講座やイベントなどを無料で開催してくれ、自由に参加できる環境ありがたい。他館にも多くの講座がある事を知らなかったのも、そういった情報も知れたら良い。

#### 《委員長》

講座はどの館でも参加することができる。いろいろな所で様々な出会いを楽しんでほしい。各務原市で育っていない方が子育てで孤独になりやすい。保護者の方を癒すことも子ども館の大切な使命の一つなので、いろいろな子ども館のイベント発信をして、みなさんが足を運べるようにしてほしい。

#### 《委員》

かわしま子ども館は 2 人の子どもを持つ母にとって目が届きやすく安心して使える場所である。スタッフも優しく、いつも子どもの名前を呼んで来たことを喜んでくれ、親子で安心できる場となっている。それぞれの子ども館で良い面が多くあり、子どもの気分や空き状況等に合わせて子ども館を選んで遊びに行けることも良い。色々なおもちゃがおいてあるので、子どもが興味をもって遊ぶおもちゃを見て、家庭での購入に至ることも多く、子どものお気に入りを探す場所としても活用している。

また、前年度にはなかったイベントが新しくできていることもあり、年々子ども館が充実していくと感じている。

#### 《委員》

各務原市内には土日開館の子ども館があるが、かわしま子ども館だけが土日の開

館が無い。その地域に住んでいる方にとっては土日の開館を望んでいる方もいらっしゃるのではないかと思います。

#### 《事務局》

休館日が5館全て同じにならないよう、どこかの館は空いているような形で運用させていただいている。かわしま子ども館をご利用の方に昨年度アンケートを取らせていただき、いろいろなご意見をいただいた。市全体の施策を考える中でアンケートを取らせていただいたが、今後もアンケートの結果を参考にさせていただきながら運用を考えていきたいと思っている。

#### 《委員》

就園先が違って、子ども館で知り合った親子から小学校の情報を聞くことができ、スムーズな就学につながった。

ボランティアで行っている【英語にふれよう】では、1歳2歳の子が多くいるので、“どんなことをしたいか”“どういうことをしてほしいか”というアンケートをとってもらえると、内容に取り入れやすい。また、かわしま子ども館以外でも要望があればボランティアで訪問する。

#### 《委員》

職員の異動に戸惑う親子が多い。特に保育所へ異動になった職員には会うことができないため、新職場へ異動する前にお知らせ、挨拶ができるようにしてほしい。

#### 《事務局》

公立保育所との兼ね合いもあり、職員の異動状況を異動前に保護者にお伝えしていない理由をこの場で回答することができない。できることであれば検討したい。保育所では職員の異動後、異動先をお便りで紹介しているので、館内の掲示等を利用してお知らせしていきたい。

#### 《委員》

我が子を連れて通っていた子ども館で、バレエの先生が体を動かす機会を作ってくれていた。自分のために体を動かす機会がなかったので、ちょっと子どもを見てもらいながら体を動かせるその日がとても楽しみだった。現在子育て中のお母さん方にも同じような気持ちになってもらえたらと思って開催している。

#### 《委員長》

自宅にいと子どもたちから離れられない保護者にとって、子ども館が“自分の為にやれる活動”ができる場となっていることが分かった。これからも保護者がリラックスして自分の為にできる活動できる場を企画して行ってほしい。

#### 《委員》

我が子もそはら子ども館でたくさん遊ばせてもらった。施設がとても清潔で綺麗、年齢に合わせて遊ぶ場が分かれているのも安心して遊ばせられる要因の一つとなっている。幼児期の多様な体験は子どもたちの豊かな成長につながっている。これからはいろいろな体験ができる場として運営して行ってほしい。

### 《委員》

我が子を0、1歳から保育所に預けて職場復帰をしたため、子ども館に遊びに行ったことがない。皆さんの話を聞き、子ども館がどんな場所であるのかを知ることができた。戻れるのなら私も我が子と一緒に子ども館へ行けばよかったと思う。

### 《委員長》

他市、他県の子ども館は委託会社が運営している所が多い。一方で各務原市の子ども館は市が運営しているという事が大きな特徴である。市の保育士が専門性を生かし、“自分たちの市の施設である”という意識をもって関わっている様子から、委託運営施設との違いが感じられる。今後も市として5館を大切に運営し、保護者だけでなく祖父母世代も安心して来館でき、地域全体で子どもの育ちを支える場としての役割を期待する。

### 《委員》

民生児童委員の活動として、“ばあばじいじとあそぼう”の事業に参加している。12月から民生児童委員のメンバーが新しくなったが、1、2回ほどの活動で「楽しかった」という声も聞かれる。これからも、このような活動の場を民生児童委員に与えていただけると嬉しい。

### (3) あさひ子ども館での一時預かり事業の実施について

- ・添付資料参照

### 質疑応答

#### 《委員長》

あさひ子ども館の2階で一時預かりを実施することだが、2階は子ども館として全く使用できなくなるのか。

#### 《事務局》

現在、使用していない部屋を使用するため、子ども館の運営に影響はない

#### 《委員長》

子ども館と一時預かりで入口は同じなのか。同じであれば、普段親子で利用する施設で親子が離れることに、子は不安を抱かないか。

#### 《委員》

一時預かりの受け渡しは2階で行う。なるべくこどもが不安を抱かないよう、注意して接する。

#### 《委員》

ほかの子ども館でも一時預かりを行う予定はあるか。

#### 《事務局》

ほかの子ども館では一時預かりの予定はないが、市内23か所の施設で一時預かりを実施している。また、こども誰でも通園制度については、4月から2施設で実施する。

《委員》

一時預かりの1日のスケジュールについて、保育所等と子ども館で違いはあるか。

《事務局》

保育所等との違いはない。ただし、今後、子ども館で実施している「みんなであそぼ」などに、一時預かりで預かっているこどもも参加してもらうことを検討している。

《委員長》

子ども館と保育所等での一時預かりの料金設定について

《事務局》

子ども館と保育所等で一時預かりの料金に差はない。

4月からは、こども誰でも通園制度と料金をそろえるため、これまでの料金設定から変更する。

議事終了後、あさひ子ども館見学